

令和7年度部活動基本方針

生活安全部

1 部活動の意義

- 部活動は、学校の管理下において計画、実施される教育活動である。
それは、学年や学級の所属を離れ、共通の興味や関心をもつ生徒が、技能の向上や個性の伸張を図り、心身の鍛錬に努めるとともに、規律正しい集団を通して、心身ともに健康で調和のとれた人間をつくることをめざして行われる教育活動である。
- 個性を伸ばす・・・自分のもっている能力を引き出し、伸ばすことができる。
- 社会性を伸ばす・・・健全な人間関係・耐え抜く精神・広い視野を育むことができる。

2 部活動の目的

- (1) スポーツや芸術の技能向上をめざし、気力・体力の増進、個性の伸長を図りながら、ルールやマナーを守る習慣を身につけ、日常の生活態度に反映することができる。
- (2) 自分や学校に自信や誇りをもつことができるように、目標の達成に向けて地道に努力を続け、困難を乗り越えていく気概や忍耐力を身につけることができる。
- (3) 生徒と職員、生徒同士の触れ合いや協力を通して、思いやりの心や協調性、感謝・自他尊重の念を培う。

3 部活動の運営方針

- (1) 国のガイドライン及び県ならびに町の方針に沿った運営を図る。
- (2) 全職員の積極的な関わりの中で目的を達成し、学業との両立を図る。
- (3) 目的を達成し学業との両立を図るために顧問(副顧問を含む、以下同じ)と保護者は協力し合うものとする。また、年度当初に各部ごとに保護者を招集し運営方法等を共通理解する。
- (4) 7に掲げる「部活動のきまり」を遵守する。規程に反する部については、校長は活動を一定期間停止させることができる。

4 部活動顧問と部活動指導員 (原則全員顧問制とし、何らかの形で部・競技の担当として配置する。)

部活名	顧問・副顧問	部活動指導員	部活名	顧問・副顧問	部活動指導員
野 球	○矢野 雄大 伊東 英司	白川 将寛 (外部指導者)	男子バスケット	後藤 祥太	安藤 美徳
男子ソフトテニス	○甲斐 真奈美 ○吉永 夕貴子	江藤 昭吾	女子バスケット	木崎 陽太	押川とも子
女子ソフトテニス	○下川 奈緒子 金田 綾菜	山村 郁代	美 術	柳田 益宏	濱田 翔子 (外部指導者)
女子バレー	西田 洋		吹奏楽	○八塙 祥子 毛上 幸代	村中 真一
サッカー	柄本 光彦	(拠点校方式)	※水 泳	二見 由衣	
※弓道	西田 洋		※陸上・駅伝	二見 由衣	
空手					

※印は中体連主催大会引率のみ

○印は主

5 部活動指導員の設置について

文部科学省、県の意向をうけ、川南町の中学校スポーツ・文化部活動においても、令和5年度から部活動の地域移行が徐々に進められることとなった。前述の通り、一部のスポーツ・文化部活動において「部活動指導員」の配置がされた。今後も、隨時「地域移行」が推進され、平日の指導は部活動顧問を中心に、週末（土曜もしくは日曜）、祝祭日においては、部活動指導員による指導を中心とという体制整備から進

められる見込みである。

6 地域（外部）指導者について

- (1) 成人であること。
- (2) 顧問が必要と判断した上で、校長が認めた者で、校長の指導下に置く。（1年間の委嘱）
- (3) 監督は学校教職員とし、地域（外部）指導者は監督の指示に従い補佐する立場を堅持できる人。
- (4) 技術指導に偏らず、全人的な指導ができる人。

以上を踏まえ、県中学校体育連盟に申請登録する。

7 部活動のきまり

- (1) 使用した道具、場所の整備・清掃を確實に行うこと。
- (2) 部活動終了時間後、15分以内に校門を出ること。
- (3) 部活動はその部に適した服装で行うこと。
- (4) 部活動のきまり違反および生徒指導上の問題を起こした場合は、本人または部の活動を中止することもある。

※ 規則違反や問題行動があった場合の処置

部内で規則を守らない場合や問題となる行動があった場合は、「顧問会」で協議し、活動停止などの処置をすることがある。尚、西都・児湯中体連の申し合わせ事項により、眉そり・茶髪・ピアス等の生徒は大会に出場できない。（最終決定は校長が行う）

8 活動時間について

- (1) 放課後の部活動時間終了時刻

曜日	終了時刻	下校時刻
月 木 金	17:30	17:45
金（4月から9月）	18:00	18:15
水	17:10	17:25

※ 雨天時等、天候によっては下校時刻を早める場合がある。

※ 平日の練習時間については、2時間とし、それを超えないように計画的に活動を行う。

- (2) 土日の部活動

- ・土日の部活動は3時間以内の活動とし、午前午後にわたらないようにする。
- ・本地区では、土・日の練習については、2か月を1単位とし、単位当たり8回の休養日を設定する。運用については部顧問に一任するが、練習計画を提出し、管理職で管理把握する。

- (3) 長期休業中の部活動

- ・長期休業中の部活動は、1日3時間以内の活動とし、午前午後にわたらないようにする。
- ・長期休業中の土日の活動については、(2)に準ずる。

- (4) その他

- ・原則として、期末テスト5日前より部活動を中止する。但し、テスト期間中に大会等がある場合は、事前に職員会で協議する。
- ・土・日・祝日は、顧問・部活動指導員・外部指導者不在の場合は原則として活動を禁止する。
- ・毎週火曜日は、リフレッシュデーとし部活動は休養日とする。
- ・毎月第3日曜日は「家庭の日」として定め、休養日とする。但し、大会等がある場合は、その前後の週休日・祝日等に必ず休養日を設定する。

9 入部手続き

(1) 1年生の入部手続き

4月14日(月)～18日(金)を見学期間とし、一年生の下校時刻は16:30とする。

4月21日(月)～25日(金)を体験期間とし、一年生の下校時刻は17:00とする。

入部届は4月14日(月)に配付、締切を4月28日(月)とする。

保護者と十分相談の上、入部届に必要事項を記入し、学級担任に提出する。

4月28日(月)より正式入部とし、2、3年生と同じ活動時間帯となる。

(2) 2・3年生の入部届は4月9日(水)に配付し、4月14日(月)までに提出する。

10 その他

(1) 月初め又は不定期にキャプテン会を開く。場合によっては顧問会も兼ねる。

(2) 体育館使用割り当て

月	火	水	木	金	土・日・祝日
男女バスケット		男女バスケット	男子バスケット	男女バスケット	別途計画
女子バレー		女子バレー	女子バスケット	女子バレー	(ローテーション)

(3) 部活動での外傷で受診した場合は、必ず「保健室」へ連絡する。

11 部活動新設の凍結及び部活動の廃部(縮減)について

(1) 生徒数減少に伴い職員数減少も予測される。そのため、部活動数を現在より増やすことは困難であり、新設はしない。

(2) 廃部(縮減)の対象となる場合。

①3学年のみ在籍。且つ、1年生の入部が無い場合が廃部・休部の対象となる。

②1年生の入部希望段階において、2年生部員と1年生の入部希望者の合計が各部活動の規程人数に達しない場合も廃部審議の対象となる。

(3) 規程人数については以下のとおりとし、団体戦を組める人数とする。

	部活動	規定人数		部活動	規定人数
1	野球	9	5	男子ソフトテニス	4
2	女子バスケットボール	5	6	女子バーボール	6
3	男子バスケットボール	5	7	吹奏楽	3
4	女子ソフトテニス	4	8	美術	3

(4) 廃部審議対象となった部活動の処遇

①3年生については、最後まで活動できる。

②1・2年生については、3年生引退後、3期連続で規定人数に達しない場合、廃部に向けた準備に入る。

・1年生については、その部活動には入部せず、他の部活動を再度選択させる。

・2年生については、新規入部を認めない。3年生の引退後、他の部活動への転部を推進する。

中体連規定により、複数合同チームとして、他校の承認がとれれば、中体連をはじめとする大会に出場することを検討する。ただし3期までとする。この場合、指導者・練習場所・責任の所在・後援会等の課題改善が責務。また、町内の同一スポーツ競技種目による合同チームを、各学校の校長、部活動顧問、後援会会长等の協議・了解を経て、発足することが認められた。その際は、双方の部活動の規模等の現状を把握・協議し、拠点中学校を置くこととしている。両校で協力し、大会参加申込み(選手起用)、練習計画、大会参加等について検討・運営に努めるとする。

12 校外部活動

- ・中体連の種目ではあるが、学校外の場所(少年団・スポーツクラブ・道場・他校等)において活動している競技については、「校外部活動」として位置づける。
- ・この場合、顧問は置かず、引率担当者(中体連に限る)を置くこととする。